

◆練習コートについて

- ・3月25日以降の練習コートは事前連絡の通りです。
- ・鶴岡市朝暘武道館はフローアのみシューズ履きが可能です。シートで覆ってある部分は内履きで構いませんが、特に廊下や階段のシートで覆われていない部分に立ち入る時は、必ずシューズを脱いで下さい。

◆上下履きについて

- ・橿引スポーツセンターは入り口で外履きを脱いで入場です。くれぐれも内履きでは外に出ないでください。また、外履きの管理は各自で徹底して行って下さい。
- ・小真木原総合体育館は観客席まで外履きで入ることが可能です。競技に影響がないように、入館するときは外履きの泥や雪を落としてからお願いします。

◆応援について

- ・最前列で立ち上がっての応援は、安全確保の点からもなさらないようにお願いします。また、橿引スポーツセンターは観客席が狭いため、譲り合って使用して下さい。橿引スポーツセンターでは体育館フローアにも椅子を設置しますが、マナーを守って使用して下さい。
- ・部旗については出入り口を避けて掲示して下さい。また、競技に支障があると判断した場合は移動をお願いすることがあります。

◆駐車場について

・小真木原総合体育館

駐車場の案内表示をよく見て駐車して下さい。

マイクロバス等は朝暘武道館東側の駐車場をご利用下さい。

体育館および陸上競技場前の駐車はご遠慮下さい。

・橿引スポーツセンター

体育館前の駐車は競技役員等の関係者のみとし、選手や応援の方は道路下の河川敷駐車場を利用して下さい。また、隣接する温泉施設の駐車場には絶対に駐車しないで下さい。

(係員が立哨いたしますので、指示に従って下さい)

・東京第一ホテル鶴岡（開会式会場）

北側（JR鶴岡駅西側）にホテル専用駐車場がありますので、そちらを利用して下さい。

◆その他

- ・小真木原総合体育館、橿引スポーツセンターともトレーニングルームが設置されていますが、選手は使用しないで下さい。
- ・橿引スポーツセンターに「横綱柏戸記念館」が併設されています。無料公開していますが、貴重な展示品が多いため、くれぐれもマナーを守って見学して下さい。

競技審判上の注意

[全般的事項]

1. この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び平成27年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗・個人対抗ともに準決勝よりつけるものとします。その他の試合においては原則として付けません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、試合順番が変わることがあるので、放送には十分注意してください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次のとおりです。
<学校対抗> 学校対抗が連続する場合は30分とします。
<個人対抗> 個人対抗(単・複)が連続する時は20分とします
7. 各試合(マッチ)のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ってください)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ってください)
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人です。主審の「(コート番号)20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
9. 個人対抗戦単において、試合開始前の練習(3分間)をする相手は対戦相手とします。
10. 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を必要とします。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
○容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れて下さい。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
11. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。(背面の文字は明確に判読できるもの)
15. 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うこととなります。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督、個人対抗では当該選手に限ります。(監督は「IDカード」を必ず付けてください)
17. 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審(サービスジャッジ)とも握手をすることを心掛けてください。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は、一切認めません。
19. 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
20. その他は、監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

競技審判上の注意

【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
3. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、(1) (2) (3) (4)は本部提出、(5)は自校の保存用となります。
4. オーダー用紙は、5枚まとめてオーダー交換所に提出して下さい。なお、対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。
なお、競技1巡目は8：45とします。2巡目からのオーダー交換は、放送でお知らせします。
5. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
6. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、放送の指示で選手集合所に集まってください。
7. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた者のみです。
8. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番チームからとします。
9. 試合開始前の練習は、対戦チームとあいさつを交わした後、主審の指示で各マッチ（試合）毎に3分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いて試合をする場合も同様に、マッチ（試合）の開始前に3分間行ってください。
10. マッチ（試合）は、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
11. マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
12. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、プラカードに続いて整列し、勝利チームから退場をしてください。

【個人対抗に関する事項】

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 選手は、放送の指示で選手集合所に集まってください。
3. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番選手からとします。
4. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従い、同時に3分間とします。（単の場合、対戦者同士で行ってください）
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードにつづいて整列し、勝者から退場してください。

【一般上の注意】

1. 競技会場の開場は、8：00です。
2. 競技者は会場到着後、必ず「受付」を済ませてから入場してください。
3. 競技会場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食は禁じます。但し、「競技審判上の注意、全般的事項 10」に関わることのみ認めます。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。
5. 部旗、応援旗を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去して下さい。
6. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
7. フラッシュ・ストロボ等を用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
8. ゴミは各自の持ち帰りを原則とし、会場に放置するなどのことがないようにお願いします。自動販売機等で購入した場合は、分別回収にご協力をお願いします。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
9. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
10. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
11. 競技会場で2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。また、通行に支障が生じる通路での応援も配慮をお願いします。